

OKAMURA REPORT

第80期 報告書 2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日 証券コード：7994



okamura

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第80期報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度の国内経済は、政府・日銀の財政政策や金融緩和を背景に株高が進行するなか、企業業績の好調さを背景に、個人所得・雇用環境の改善が継続されるとともに、設備投資の動きが活発化するなど、明るさが見られました。しかしもう一方では、消費増税や円安の影響による実質賃金の低下にともなう消費低迷の長期化や円安による輸入原材料の高騰など、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。



代表取締役会長

中村喜久男



代表取締役社長

中村 雅行

この結果、当連結会計年度の売上高は220,130百万円（前期比4.1%増）となりました。

損益面につきましては、経常利益は10,347百万円（前期比2.8%増）、当期純利益は、6,422百万円（前期比5.0%増）となりました。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

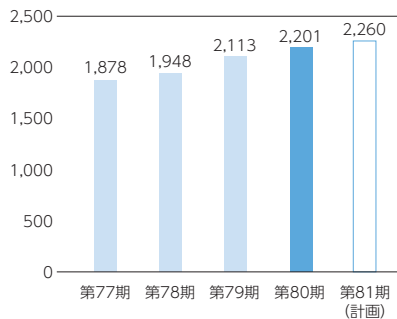
連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

売上高

2,201 億円（前期比 4.1%増）

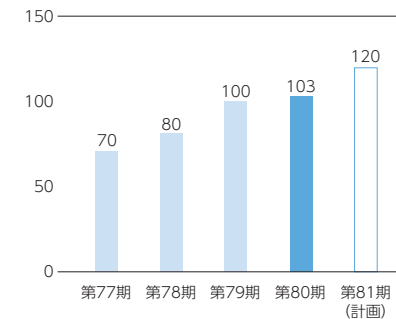
単位：億円



経常利益

103 億円（前期比 2.8%増）

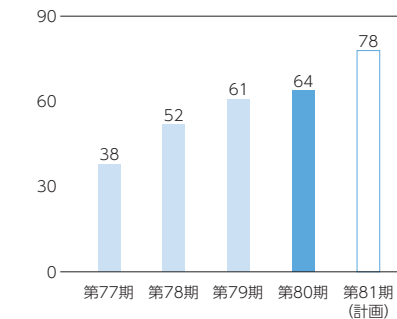
単位：億円



当期純利益

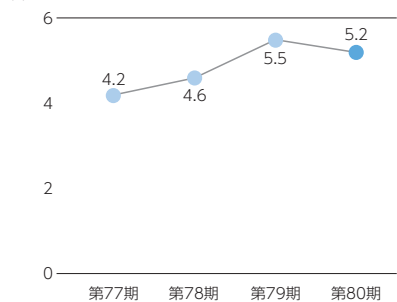
64 億円（前期比 5.0%増）

単位：億円



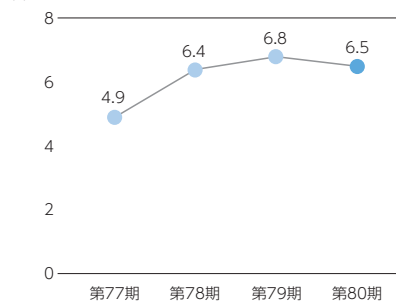
ROA（総資産経常利益率）

単位：%



ROE（自己資本当期純利益率）

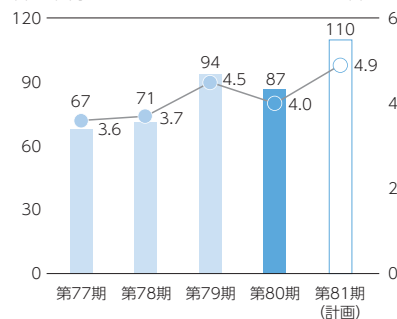
単位：%



売上高営業利益率

■ 営業利益 ● 売上高営業利益率

単位：億円



北里大学
病院
Kitasato
University Hospital

より高度で先進的な医療を開発・提供するために新築移転。



4



5



6



2



3

神奈川県県央部の中核病院として、特定機能病院、がん診療連携拠点病院に位置付けられ、三次救急医療機関としての機能も果たしてきた北里大学病院。北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年記念事業の一環として、大学病院の新築移転を進め、2014年5月に新病院がオープンしました。

新病院は、特定機能病院・大学病院として高度先進医療を開発・提供し、それを担う人材を養成するという役割をこれまで以上に果たすため、手術支援ロボットやハイブリッド手術室等、多くの最新医療設備を導入。救命救急センター、災害拠点病院、周産母子成育医療センター、地域がん診療連携拠点病院としての機能もさらに充実させています。

また、よりよい環境で最適な医療を提供できるよう、相談窓口を充実させるなど、患者サービスの向上にも力を注いでいます。



施設概要

所在地	神奈川県相模原市南区北里1-15-1
オープン	2014年5月
建物	地上14階、地下1階
診療科目	37科目
病床	1,033床
設計	株式会社日建設計
施工	株式会社竹中工務店

- 電子カルテカートの運用に配慮し、動線を確認したスタッフステーション。ナーステーブルには、看護師が見やすい位置に生体監視モニターとナースコールモニターを設置。
- 外来待合には、デザイン性、安全性、清潔感、立ち上がりやすい形状などを追求し、インテリアにも調和するロビーチェアを製作。
- 診察室のデスクは、机上面を広く使えるようアッパーユニットを活用。掲示物用にホワイトボードパネルも設置。
- 作業台下部の診療材料トレー引出しが施錠できる点滴処置台を採用した外来処置室。
- 手術室には、搭載量の違う2タイプのナースカートを配置。支柱のカラーは統一。
- ユニバーサルデザインのトイレブースを採用した、木目扉の外来トイレ。

2014
10月

- オカムラ経営セミナー「THE BALANCED WORKPLACE」開催 **TOPICS 1**
- 第3回「金融機関店舗フェア（FIT2014 併催特別企画展）」出展
- 岡村製作所8製品が「2014年度グッドデザイン賞」を受賞
- 食堂用家具「canteen（キャンティーン）」が「グッドデザイン・ベスト100」に選出
- 「ORGATEC2014 ケルン国際オフィス家具見本市」出展 **TOPICS 2**

11月

- 「オカムラグランドフェア2014」開催
- 「第16回 図書館総合展」出展
- 「オカムラ Visplay（ヴィスプレイ）ショールーム」移転・リニューアル **TOPICS 3**
- 「HOSPEX Japan 2014」出展
- 収納システム「Rectline（レフトライン）」にバイオマス塗装を導入
- 岡村製作所の製品および研究4件(divo、WAVELET、Karre、Sylphy)が「IAUDアワード2014」を受賞
- 「IFFT／interiorlifestyle living 2014」出展
- ホースロギングファニチャー「trot table(トロット・テーブル)」新発売
- 点滴スタンド「divo（ディーボ）」が「2014年“超”モノづくり部品大賞で「健康・医療機器部品賞」を受賞

12月

- 「オカムラグランドコンサート2014」開催
- 「エコプロダクツ2014」出展
- 大阪「オカムラフェア2014」開催

2015
1月

2月

- 「第49回 スーパーマーケット・トレードショー2015」出展 **TOPICS 4**
- 2製品（muffle、Sabrinaシリーズ）が「JIDAデザインミュージアムセレクション」に選定
- 2製品（muffle、L-table）が2015年度「iFデザイン賞」を受賞
- 福岡「オカムラフェア2015」開催

3月

- 第44回 店舗総合見本市「JAPAN SHOP 2015」出展
- 第23回「SECURITY SHOW 2015」出展
- 第15回「JAPANドラッグストアショー」出展
- オカムラグループ「CSR Report 2014」が「第18回環境コミュニケーション大賞」にて「優良賞（第18回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞）」を受賞
- オフィスシーティング「mode(モード)」がドイツの「recommended:UNIVERSAL DESIGN」において「ユニバーサルデザイン エキスパートフェイバリット 2015」と「ユニバーサルデザイン コンシューマーフェイバリット 2015」の両方に選定
- 上下昇降デスク「Swift(スイフト)」がドイツの「recommended:UNIVERSAL DESIGN」において「ユニバーサルデザイン エキスパートフェイバリット 2015」に選定

SECOND HALF TOPICS

TOPICS 1

オカムラ経営セミナー「THE BALANCED WORKPLACE」開催



2014年10月6日、東京・港区のザ・リッツ・カールトン東京にてオカムラ経営セミナー「THE BALANCED WORKPLACE」を開催しました。アメリカ大手設計会社、ゲンスラーアンドアソシエイツ インターナショナル リミテッドのジャネット・ポーグ・マクローリン氏をお招きし、2013年に発表された「米国ワークプレイス調査結果報告書」と最新のオフィス事例についてご紹介いただきました。



TOPICS 3

「オカムラ Visplay（ヴィスプレイ）ショールーム」移転・リニューアル



11月4日、「オカムラ Visplayショールーム」を東京・千代田区の東大手ビルに移転、リニューアルオープンしました。新たな展示スペースには、多彩な機能を持つVisplay社の製品を一堂に展示し、お客様が店舗づくりを検討する際に、商品陳列のイメージを具体的に検証できる店舗用システム什器の展示空間となっています。

TOPICS 2

「ORGATEC2014 ケルン国際オフィス家具見本市」出展



10月21日～25日、ドイツ・ケルンで開催された「ORGATEC 2014 ケルン国際オフィス家具見本市」に出展しました。インダストリアルデザインの名門「ジウジアーロ・デザイン」とのコラボレーションで生まれたオカムラのフラッグシップとなるオフィスシーティング「Sabrina Standard（サブリーナ スタンダード）」をはじめ「Sylphy（シルフィー）」「muffle（マッフル）」を展示し、多くのお客様にご来場いただきました。

Mathis Wienand / Getty Images for OKAMURA CORPORATION

TOPICS 4

「第49回 スーパーマーケット・トレードショー2015」出展

2015年2月10日～12日、東京ビッグサイトにて「第49回 スーパーマーケット・トレードショー2015」が開催されました。「オカムラの総合力でお客様の「ちょうどいい」をご提案」をキーワードに、節電・省エネ製品やコーナー専用什器のご提案、都市型店舗に対応する什器など、多様化するお店づくりのニーズに応え、商品の見せ方から環境配慮まで総合的な提案を行いました。



NEW PRODUCT 1

軽快で洗練された印象のデザインチェア オフィスシーティング「mode（モード）」

2015年1月、オフィスシーティング「mode」を発売しました。
「mode」はデザインと機能を両立した、軽快かつ上質な印象のオフィスシーティングです。背もたれから座面下まで流れるようなサイドシルエットと洗練されたデザインが特徴的で、背と座のクロスは3種類30色の中から、お気に入りの一脚を仕立てることができます。

機能面では背を軽量かつ強靱なフレームとメッシュ素材で構成し、その上からクロスを被せる「インナーメッシュ構造」を開発。メッシュチェアのような優しく包み込む座り心地と通気性を実現しました。また操作レバーを座ったまま手の届くところに集約し、さらに新開発の「スマートスライドオペレーション」を搭載しており、高い操作性と快適な座り心地を備えています。

多様化するワークシーンでそれぞれのスペースにふさわしい環境を提供します。



NEW PRODUCT 2

ベストポジションにデスクの高さを変更し、ワークスタイルの多様化に応える 上下昇降デスク「Swift（スイフト）」

2015年1月、上下昇降デスク「Swift」を発売しました。
「Swift」は、天板をスピーディーでなめらかに昇降させることができる、デスクとミーティングテーブルです。オフィスワーク

の常識を変える新たなデータとして、立ち仕事と座り仕事を繰り返すことで、働き方にプラスの効果があることが、公益財団法人労働科学研究所とオカムラとの実験によって明らかになりました。デスクは650mmから1,250mmの間をボタンひとつで静かに素早く昇降でき、立ったり座ったりするポジションの変更をストレスなく行うことができます。天板エッジは腕への負荷を軽減する曲線仕上げで、立っても座っても心地よさが続きます。目的に応じて昇降できるミーティングテーブルと、デスクのメリットをより高めるパネルや専用ワゴンなどもラインアップ。

オフィスで求められる多様な働き方に対応し、個人の力と他のワーカーとのチームの力とをバランス良く発揮できるようにサポートします。



OKAMURA NEW PRODUCTS

NEW PRODUCT 3

知識が活発に交流する、ラーニングコモンズ向けのチェア・テーブル 教育施設用家具「studio series（ストゥディオシリーズ）」

2015年1月、教育施設用家具「studio series」を発売しました。
「studio series」は、デザインディレクターとして安田アトリエの安田幸一氏に監修いただき、多様化する学びのあらゆるシーンにお使いいただける教育施設用チェアとテーブルのシリーズです。

「e-chair」は、学生を「金の卵」ととらえた、独特のデザインが特徴のアクティブチェアです。「l-table」はシンプルなデザインを追求したスタッキングテーブルで、コンパクトに美しくスタッキングできるのが特徴です。2014年度グッドデザイン賞も受賞しました。「v-chair」は、教室以外のパブリックスペースで学生の知識交流をサポートする、共用スペース向けチェアです。

グループディスカッションやインタラクティブな講義、共有スペースでのミーティングの場をよりアクティブなものへと導きます。



e-chair



v-chair



l-table

NEW PRODUCT 4

医療機関内の診療材料を、統一したモジュールのトレイで管理・運用する収納システム 診察材料収納システム「Relate（リレイト）」

2015年3月、医療機関内の診療材料などを、モジュールを統一したトレイを用いてキャビネットやカート間で自由に流通させて管理する、診療材料収納システム「Relate」を発売しました。

病院内の収納物は、診療材料から大量の機器類、書類まで多岐にわたり、施設や部署も多いことから煩雑になりがちです。「Relate」は、毎日大量に消費する診療材料を、統一したモジュールのトレイを用いて「キャビネット」「ラック」「作業台」「搬送カート」間で管理・運用が可能。

限られたスペースを有効活用することで病院全体の業務効率を大幅にアップさせ、医療・看護の最前線にスムーズな流れをもたらします。



事業別セグメントの概況

Performance Results by Segment

オフィス環境事業

Office Furniture



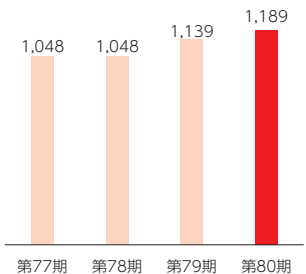
オフィス環境事業につきましては、年度前半は、消費増税の駆け込み需要の反動減による影響がみられたものの、年度後半は、都心を中心に大規模オフィスビルの供給が増加し、業績が好調な企業を中心としたオフィスの移転需要及びリニューアル需要は回復してまいりました。このような状況のもと、オフィスワーカーの多様な働き方に対する最適なオフィス空間のあり方を積極的に提案するとともに、新製品投入や教育・医療・文化・研究施設や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動などに努めたことにより、前連結会計年度に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は118,962百万円（前期比4.4%増）、セグメント利益は6,570百万円（前期比12.4%増）となりました。



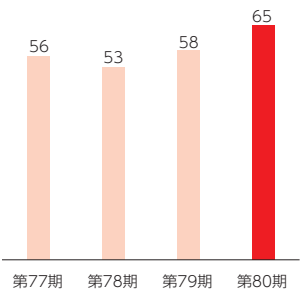
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



商環境事業

Store Displays



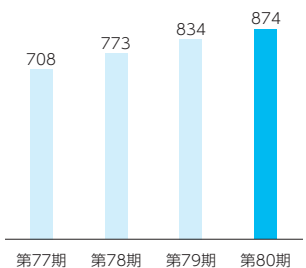
商環境事業につきましては、消費増税の影響が一部の小売業界にみられたものの新規出店、改装を積極的に展開するコンビニエンスストア、ドラッグストアへ注力するとともに、改装受注や冷凍・冷蔵ショーケースの受注拡大に努めてまいりました。また、2014年8月に、御殿場事業所新工場棟の操業を開始し、冷凍・冷蔵ショーケースの生産能力を増強するとともに、同年9月に、日進工業株式会社のカート事業を事業譲受することで、製品の品揃え強化・販売力の拡大を図るなど、今後の需要への対応も進めたことにより、前連結会計年度に比べ、売上高は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は87,410百万円（前期比4.8%増）、セグメント利益は2,350百万円（前期比21.2%減）となりました。



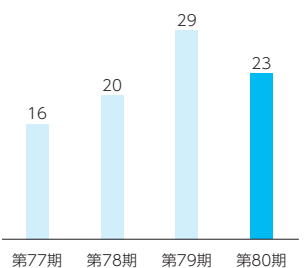
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



その他(物流機器事業他)

Material Handling Systems and Others



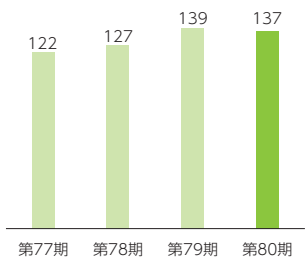
物流機器事業につきましては、食品、医療、ネット通販などの成長分野及び他事業とのシナジーを活かしたプロセスセンターや図書館用自動書庫に注力してまいりました。また、提案力と優位性のある製品力などの強みを活かしたトータル受注の拡大に努めてまいりましたが、消費増税後の様子見や前連結会計年度に比べ大型物件が減少したことなどにより、売上の減少を余儀なくされました。

この結果、当セグメントの売上高は13,757百万円（前期比1.3%減）、セグメント損失は155百万円（前期は625百万円のセグメント利益）となりました。



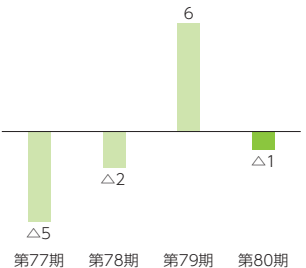
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



連結財務諸表（要約）

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

科 目	当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	105,247	100,008
現金及び預金	24,021	26,545
受取手形及び売掛金 ❶	60,898	55,281
商品及び製品	10,163	8,851
仕掛品	1,625	1,491
原材料及び貯蔵品	3,954	3,708
その他	4,583	4,130
固定資産	102,140	90,905
有形固定資産 ❷	50,237	48,471
建物及び構築物	15,380	13,221
土地	23,522	23,522
その他	11,333	11,728
無形固定資産	5,046	4,887
のれん	401	1,292
その他	4,645	3,595
投資その他の資産	46,856	37,545
投資有価証券 ❸	32,773	26,154
退職給付に係る資産	6,808	5,136
その他	7,275	6,254
資産合計	207,387	190,913

(単位:百万円)

科 目	当 期 2015年3月31日現在	前 期 2014年3月31日現在
負債の部		
流動負債	65,919	65,641
支払手形及び買掛金	34,209	31,361
電子記録債務	11,123	11,051
短期借入金	6,102	6,289
1年内返済予定の長期借入金	3,126	1,085
1年内償還予定の社債	—	5,000
その他	11,356	10,853
固定負債	37,923	32,043
社債	10,000	5,000
長期借入金	5,059	7,988
退職給付に係る負債	13,701	13,427
繰延税金負債	4,547	2,333
その他	4,615	3,293
負債合計	103,843	97,684
純資産の部		
株主資本	91,382	86,557
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,759	16,759
利益剰余金	58,365	53,532
自己株式	△ 2,413	△ 2,405
その他の包括利益累計額	11,796	6,295
少数株主持分	366	375
純資産合計	103,544	93,229
負債純資産合計	207,387	190,913

連結損益計算書

科 目	当 期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1日から 2014年3月31日まで
売上高	220,130	211,363
売上原価	155,089	147,492
売上総利益	65,041	63,871
販売費及び一般管理費	56,274	54,417
営業利益	8,766	9,454
営業外収益	2,175	1,424
営業外費用	594	810
経常利益	10,347	10,067
特別利益	603	304
特別損失	626	3
税金等調整前当期純利益	10,324	10,368
法人税、住民税及び事業税	3,988	4,512
法人税等調整額	△ 53	△ 215
少数株主損益調整前当期純利益	6,390	6,071
少数株主損失(△)	△ 32	△ 42
当期純利益	6,422	6,113

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで	前 期 2013年4月 1日から 2014年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー ❹	7,463	9,868
投資活動による キャッシュ・フロー ❺	△ 6,487	△ 8,104
財務活動による キャッシュ・フロー ❻	△ 3,296	△ 2,948
現金及び現金同等物に 係る換算差額	218	276
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 2,101	△ 908
現金及び現金同等物の 期首残高	24,909	25,818
現金及び現金同等物の 期末残高	22,808	24,909

(単位:百万円)

POINT

❶ 受取手形及び売掛金

売上高の拡大にともない前連結会計年度末から5,617百万円増加し、60,898百万円となりました。

❷ 有形固定資産

御殿場工場の増築等により前連結会計年度末から1,765百万円増加し、50,237百万円となりました。

❸ 投資有価証券

時価の上昇等により前連結会計年度末から6,618百万円増加し、32,773百万円となりました。

❹ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益10,324百万円、減価償却費4,997百万円、仕入債務の増加額2,741百万円等による増加と、売上債権の増加額5,617百万円、たな卸資産の増加額1,326百万円、法人税等の支払額4,830百万円等による減少の結果、7,463百万円の資金増加となりました。

❺ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得5,112百万円、無形固定資産の取得1,788百万円等による減少と、投資有価証券の売却及び償還1,434百万円等による増加の結果、6,487百万円の支出となりました。

❻ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の減少額912百万円、配当金の支払額2,038百万円等の支出の結果、3,296百万円の支出となりました。

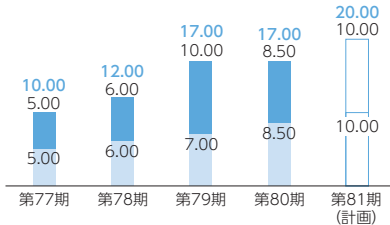
配当金についての基本方針

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。
利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

■ 配当金

80期
期 末 8.50円
(年間17円)

単位：円
■ 中間
■ 期末



会社情報

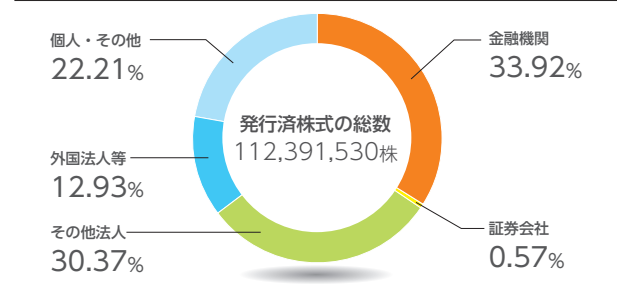
(2015年3月31日現在)

Corporate Data

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	4,943名

所有者別株式分布状況



主要な事業内容

■ オフィス環境事業

オフィス家具、公共施設用家具、研究施設用家具、金庫・貸金庫、防水板、防犯設備、SOHO家具、移動間仕切、収納型間仕切などの製造・販売及び据付・内装等の請負工事

■ 商環境事業

店舗用商品陳列棚、冷凍・冷蔵ショーケース、店舗カウンターなどの製造・販売及び据付・内装工事・店舗保守サービス等の請負

■ その他（物流機器事業他）

工場・倉庫用物品保管棚、物流自動機器・装置の製造・販売及び据付等の請負工事、産業車両・建設機械用流体変速機の製造・販売及び当社グループ所有の不動産の賃貸

会社概要

設 立	1946年7月
資 本 金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従 業 員 数	2,866名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	7,814	7.08
オカムラグループ従業員持株会	6,837	6.20
三菱商事株式会社	6,300	5.71
明治安田生命保険相互会社	5,437	4.93
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
三井住友海上火災保険株式会社	5,295	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,805	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,696	4.26
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協力会持株会	3,753	3.40

(注) 持株比率は、自己株式 (2,061,592株) を控除して計算しております。

取締役及び監査役

地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長	中 村 喜久男	
代表取締役社長	中 村 雅 行	
専務取締役	牧 野 広 司	オフィス営業本部長
専務取締役	佐 藤 潔	管理本部長
専務取締役	岩 下 博 樹	マーケティング本部長
常務取締役	菊 池 繁 治	オフィス営業本部首都圏営業本部長
常務取締役	岩 田 寿 一	ヘルスケア事業本部長
常務取締役	土志田 貞 一	企画本部長
取締役(社外)	衣 川 潤	三菱商事㈱代表取締役副社長執行役員金属グループCEO
取締役(社外)	海老名 健	
取締役(社外)	飯 塚 延 幸	三菱地所㈱顧問、㈱東京交通会館代表取締役社長
取 締 役	小 熊 誠 次	デザイン本部長
取 締 役	山 本 文 雄	商環境事業本部長
取 締 役	中 島 章 雄	オフィス営業本部関西支社長
取 締 役	金 子 肇	海外営業本部長
取 締 役	山 木 健 一	生産本部長
取 締 役	井 上 健	商環境事業本部営業本部長
取 締 役	田 尻 誠	物流システム事業本部長
監 査 役	守 分 宣	
監 査 役	荒 谷 克 典	
監査役(社外)	鈴 木 祐 一	弁護士
監査役(社外)	岩 本 繁	公認会計士

工場施設

追浜事業所 (神奈川県横須賀市)	つくば事業所 (茨城県つくば市)	高畠事業所 (山形県東置賜郡高畠町)
富士事業所 (静岡県御殿場市)	御殿場事業所 (静岡県御殿場市)	中井事業所 (神奈川県足柄上郡中井町)
㈱関西岡村製作所 (大阪府東大阪市)	㈱山陽オカムラ (岡山県高梁市)	㈱エヌエスオカムラ (岩手県釜石市)
鶴見事業所／シーダー㈱ (神奈川県横浜市鶴見区)	㈱富士精工本社 (石川県能美市)	Siam Okamura Steel Co., Ltd. (Bangyaprak, Phrapradaeng, Samutprakarn, Thailand)
砂畑産業㈱ (東京都足立区)	杭州岡村伝動有限公司 (中国浙江省臨安市)	東莞誠美家具有限公司 (中国広東省東莞市)

関係会社

㈱関西岡村製作所	シーダー㈱	上海岡村家具物流設備有限公司
㈱オカムラ物流	㈱富士精工本社	Salotto (China) Limited
㈱オカムラ サポート アンド サービス	セック㈱	Siam Okamura Steel Co.,Ltd.
㈱エヌエスオカムラ	㈱Td Japan	Siam Okamura International Co.,Ltd.
㈱山陽オカムラ	㈱オカムラ ビジネス サポート	杭州岡村伝動有限公司
㈱エフエム・ソリューション	砂畑産業㈱	
㈱ヒル・インターナショナル	Okamura International (Singapore) Pte Ltd	(他15社 合計34社)

主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム (東京都千代田区紀尾井町)	オカムラ 大阪ショールーム (大阪市北区大深町)	オカムラVisplayショールーム (東京都千代田区内神田)
オカムラ 仙台ショールーム (仙台市青葉区花京院)	オカムラ 福岡ショールーム (福岡市博多区博多駅前)	オカムラいすの博物館 (東京都千代田区永田町)
オカムラ 名古屋ショールーム (名古屋市中村区名駅)		

■ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	3月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人／ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）

（ご注意）

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

▶ インターネットでおカムの最新情報をご覧ください。

オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ

検索

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

〒220-0004
横浜市西区北幸二丁目7番18号
TEL：045-319-3401（代）

